

令和5年度大学院地球社会統合科学府

修士課程（夏季）入学試験

入学試験問題

④ 経済学

注意事項

1. 問題は「はじめ」の合図があるまで開けないこと。
2. 試験開始後、全ての解答用紙に受験番号等を明記すること。
3. 解答用紙は、必ず全部提出すること。
4. 問題冊子は持ち帰ってよい。
5. 指定の解答用紙を用いること。

次の（問題 1）から（問題 4）までの中から 2つを選択し、問題番号を明記した上で解答しなさい。ただし、問題ごとに異なる解答用紙を用いること。

（各問題 100 点、合計 200 点満点。）

（問題 1）

機械・金属工業における産業集積と IT 産業における産業集積とは、ともに産業集積と呼ばれるものの、大きく異なっている部分もみられる。両産業における産業集積について、その共通点と相違点について説明しなさい。

（問題 2）

CSR や SDGs に取り組むことは、企業にとって必ずしも経営に貢献するとは限らない。しかしながら現代社会においては、多くの企業が CSR や SDGs に取り組んでいる。どのような条件が整えば、CSR や SDGs への取り組みが企業経営に貢献することになるのかを論じなさい。

（問題 3）

1973(昭和 48)年の第 4 次中東戦争を契機としてオイルショックが発生し、日本の高度経済成長は終わることとなった。日本の高度経済成長のメカニズムについて説明するとともに、オイルショックがその終焉にどのように影響したのか、あなたの考えを述べなさい。

（問題 4）

高橋財政は、しばしばケインズ政策を先取りした事例として紹介される。どのような点で高橋財政がケインズ政策の先取りだと言えるのか説明をしなさい。その上で、ケインズ政策の問題点について、2.26 事件にも言及しながら述べなさい。